

西サハラ支援バイクツアー

7月5日に我が家に自転車旅行のスウェーデン人2人が訪れ、一泊しました。

彼らの旅の目的はアフリカ大陸の西サハラという国で迫害されている人々の状況を世界中の人々に広く知ってもらい、できれば支援してほしいというところにあります。西サハラってなに？というのが多くの日本人の反応だと思いますので、興味のある方は、「西サハラ問題」をネットで検索してみてください。私の従姉がアフリカと深い関係があったため泊めることになったのですが、詳しい話はここでは省略します。

とにかく外国人を泊めるということは大変なことで、しかもベジタリアンときは料理を提供する妻も一苦勞でした。

もう20年近く前に、国際交流の関係で米国の高校生を我が家に泊めて以来の出来事で、彼らが訪れるまでは何をどうしゃべって間を持たせたら良いのか頭を悩ませていましたが、そこは世界中を旅している人たちだけあって、私共の頼りない英語でもそこそこ理解し合いながら楽しい時間を過ごすことができました。世界40か国を2年かけて自転車で回ろうという彼らの熱意は素晴らしく、そういった活動をしている外国人と話をする機会を持つことができたということは刺激的かつ有意義な一夜でした。

翌6日には、御殿場市役所の一部屋をお借りして市の国際交流の方々と歓談し、今置かれている西サハラの現状を知ってもらうことができました。

つくづく思うのは日本の平和の素晴らしさです。しかしその平和はいつまで続くでしょうか？戦争だけでなく環境の変化で明日はどうなるのかもわからない。そういった危機意識を持つことが必要ではないでしょうか？

ただかわいそうだったのはうちの猫で、外人に恐れをなして納戸の奥深くに潜んでしばらく行方不明でした。

